

# 佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会  
編集発行人 森 清隆



## 会員各位

新年度が始まり、会員の皆さまにおかれましては、いかにお過ごしでしょうか。さて、平成18年度最初の「佐事研だより」をお届けします。まずは、44号でお知らせしました前年度最後の理事会（職免分）報告からです。

### 平成17年度第2回理事会報告

第2回理事会（職免分）が3月14日（火）アバンセで開催されました。その時の内容を報告します。

#### 1. 会長より

- ・ PTA会計や学級会計報告について、年度末で忙しい時期となりましたが、学校としてきちんとした対応をしていきたいと思いますというお話がありました。

#### 2. 労金より

- ① セブン銀行で、ATMでの取り扱いができるようになりました。手数料がほぼ無料になるなど、他行と比較してもお得になりますので、是非ご利用くださいとのことです。
- ② 学校生協預金の取り扱いについては、2006年度で募集の最終年度にしたいのですが、その切り替えについては2006年5月～8月程度の期間に各学校を訪問し、職場説明により対応を図りたいということです。

#### 3. 第3回理事研修会（1月20日）後の運営関係等の経過報告

- ① 2/23 全事研評議員会
  - ・ 18年度の全事研第38回神奈川大会は、横浜市のみなとみらい地区で開催されます。主会場はパシフィコ横浜（横浜国立大学ホール）。今回は、7/27～7/28（2日間日程）の開催で、申し込みは郵送ではなくWEBがメインとなるようです。  
大会ホームページURL ; <http://www.zenjiken.org/taikai/kanagawa/>
  - ・ 19年度の第39回大会は、愛知（名古屋市）、20年度の第40回記念大会は福島県。40回大会では、各地区で分科会運営を1つずつ受け持ってもらいたいという提案がありましたが、異論もあったので、今後の代表者会等の検討事項となっています。
  - ・ 21年度の第41回大会は、福岡県にて開催。今後、九州各県組織の各分科会運営協力体制について協議していきます。（テーマ等は未定）なお、18～19年度の2カ年は、九州地区代表（委員長）は佐賀県、副委員長は熊本県の予定。（熊本県の正式加盟も決定。未加盟地区は、北海道・山形・大分・沖縄の4地区のみ。）
- ② 2/24 全事研セミナー
  - ・ 平成18年2月24日（金）に、東京都の文京シビックホールにて開催されました。
- ③ 3/6 佐事研ビジョン研究班
  - ・ 「佐事研を機能させて佐賀県の学校事務を良くする案」について検討・協議しています。

#### 4. 平成18年度の活動体制について

- ① 各地区役員について
  - ・ 新年度の各地区選出の役員については、4月28日（金曜日）までに、理事を通して報告してください。
  - ・ 「各地区での理事選出については、可能な限り40代以下のものとする」という前回提案の趣旨は、「立場が人を成長させる」という観点に立ち、また佐賀県下の事務職員の年齢構成の偏りを考慮し、できるだけ50歳未満の年齢層の事務職員にリーダーシップ発揮の場を提供しようというものであって、合併等地区の諸実情にあわせて選出することを妨げるものではありません。

- ・ 今回は報告までの期日が厳しいですが、春の大会が1ヶ月近く早い期日となっておりますので、各地区のご理解とご協力をお願いします。
- ② 常任理事等について
  - ・ 会長・副会長については、交代・留任を含めて、総会にて選出・承認します。
  - ・ 監査委員についても、総会での承認事項となりますが、選出にあたっては、東松・杵西地区に一任します。  
(報告は4月28日まで)
  - ・ 専門部長及び事務局長・次長・局員については、会長の委嘱事項となりますが、18年度は一部交代の可能性もあります。
- ③ 各専門部より
  - ・ 研究部
    - \* 全事研第41回大会時の分科会運営について、発表の為の研究ということではなく、分科会テーマに見合う課題を研究している班を中心に研究を深めていけばよいのではという案が出ています。
    - \* 来年度の研究班については、下記のような構成にする予定です。(当面3カ年)
      - ◇ 学校事務共同実施研究班
      - ◇ 職務規程研究班
      - ◇ 学校事務研修体系研究班
      - ◇ 佐事研ビジョン研究班
  - ・ 研修部
    - \* 今年度も、春秋2回の研究大会の運営と、テーマ別研の実施をしました。
  - ・ 調査広報部
    - \* 佐事研だよりの配布を、40号～44号まで行いました。
    - \* 意識調査及び職務標準アンケートを実施し、全事研の調査にも対応しました。
    - \* 大会時には、成果について発表を行いました。

## 5. 第20回大会について

- ① 期日；5月23日(火曜日)
- ② 場所；アバンセ
- ③ 内容；午前は開会行事及び総会行事  
 午後は講演「学校事務職員の職務と専門的力量的の研究と今後の展望」(仮題)  
 予定講師 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター 藤原文雄助教授  
 並びに、徹底討論「共同実施」(仮題)…パネラー及び会場との討論会

## 6. その他

- ① 共同実施加配について
  - ・ 今年度は9名の加配でしたが、未確認情報ながら来年度は1名増員で10名の加配、内、佐賀市に4名加配という話もあっています。
- ② 大会参加費値上げについては、会費とは意味合いが違い承認事項とはならない為、春の大会から総会での承認なしでの実施となりますので、各自ご了承ください。
- ③ 平成18年度の第1回理事会(職免)は、4月24日(月曜日)。地区により新旧のどちらの理事が出席するかは一任します。
- ④ 互助会について
  - ・ 県からの補助金は減額されましたが、その分は人間ドックへと活用します。その他の事業は減らさず継続していきますが、その資金としては、退職生業資金を廃止することで対応していきたいとのことです。
  - ・ 佐事研への補助金廃止の願いが来ていますが、佐事研としては継続をお願いしたく、検討事項となっています。
  - ・ 担当者の押印欄については不要との意見もありましたが、助成金との兼ね合いもあるため、佐事研としては事務職員が押印することを今後も了承してほしいという話がありました。

- ⑤ 生協について
  - ・ 事務研への補助金及び事務手数料を下げたいという申し出があります。
  - ・ 生協の会計については、もう少し精査していく必要があるのでは。
- ⑥ 弘済会より
  - ・ 厳しい状況だが、佐事研への研究助成は続けていきたいとのことです。
- ⑦ 国庫負担問題
  - ・ 全国知事会では、0%の提案がなされることが予測されます。文科省からは100%で継続要求していくものと思われませんが、問題が再燃されるのは必至の状況です。

## 平成18年度第1回理事会報告

第1回理事会が、4月24日にメートプラザにて開催されました。その時の内容を報告します。

### 1. 会長より

18年度最初の理事会ということでメンバーの入れ替えもあり、これから新体制でのスタートとなります。まずは5月23日の第20回大会の成功へ向けて皆さんで頑張っていきましょう。

### 2. 第20回大会（運営に関する事）について

- ① 期日 5月23日（火曜日） 9時30分～受付開始  
10時00分～開会行事  
16時45分 閉会

場所 アバンセ大ホール

#### ② 内容予定案

午前 来賓挨拶等の開会行事・総会行事

午後（1）記念講演『学校事務職員の職務と専門的力量的の研究と今後の課題』

講師 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター 助教授 藤原文雄氏

午後（2）パネルディスカッション『佐賀県における今後の「事務の共同実施のあり方」を展望する』

パネラー・・・・・・・・常任理事会としては、実践地区より2～3名程度、共同実施に消極的、または否定的な意見を持つ会員1名、校長1名、県教委教職員課より1名で構成予定。現段階では人選は未定。

※ 内容・パネラー等決定し次第理事へメール配信する。

#### （3）資料代について

前回理事会で、従来500円から1,000円にするよう協議していたが、予算残があり会員への値上げの説明も困難であるため、当分の間従来どおりの額とすることで決定。

### 3. 第20回大会（活動報告に関する事）について

- （1）第一号議案 事業報告・活動経過報告（事務局長より）
- （2）" 専門部活動報告（各専門部長より）
- （3）第二号議案 決算報告（事務局長より）

平成17年度補正予算の提案

収入・・・雑収入 増【弘済会モニター料】

支出・・・報償費 減【大会講師謝金】

準備金 増【全事研大会準備金】

- （4）第二号議案 監査報告（監査委員より）

## 4. 第20回大会（18年度活動計画に関すること）について

## (1) 第三号議案 役員を選出

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 会長     | 小川洋起  | 三根西小  |
| 副会長    | 近藤ひろ子 | 脊振中   |
| 副会長    | 吉原文雄  | 北山小   |
| 副会長    | 古川 治  | 簗木小   |
| 副会長    | 百武雅彦  | 西川登小  |
| 副会長    | 金林克哉  | 値賀中   |
| 研究部長   | 田中広信  | 田代中   |
| 研修部長   | 徳永良文  | 勸興小   |
| 調査広報部長 | 外尾幸太郎 | 大良小中  |
| 事務局長   | 鮎川 慶一 | 芦刈小   |
| 事務局次長  | 古賀由美子 | 納所小   |
| 事務局次長  | 楢原英幸  | 神集島小中 |
| 顧問     | 森 清隆  | 赤松小   |
| 監査     |       | 東松地区  |
| 監査     |       | 杵西地区  |

※ 事務局に以下の局員を追加し、事務局体制を強化する。

江里口和紀（砥川小）・小嶋 明（加唐小）

(2) 第四号議案 事業計画・活動年間計画（事務局長より）

(3) " 専門部活動計画 （各専門部長より）

(4) " 役員連絡表 メールアドレスの登録について

佐事研ホームページより登録する。昨年登録者も再度登録する。

(5) 第五号議案 予算 （事務局長より）

・その他の役員については4月末日までに理事よりメールにて報告する。

・常任理事は原稿を5月1日までにメールにて送信する。

## 5. その他

## ① 共同実施加配について

現段階で分かっているのは、中原中・基山中・神埼中・千代田中・勸興小・巨勢小・大和中・鍋島中・鬼塚中・御船が丘小の10校。その他の学校については現在確認中。

## ② 大会参加費値上げの件

従来の500円から1,000円にするよう協議していたが、予算残があり会員への値上げの説明も困難であるため、当分の間従来どおりの額とする。

## ③ 決算報告書の件

第20回大会での17年度予算決算報告については今理事会にて承認を受けた（補正予算を組んだ分）物で提案する。

## ④ 勝山浩司宝塚市教育長（前文部科学省財務課課長補佐）の来佐について

5/17・18・19の予定で全国都市教育長協議会で来佐される。以前講演をしていただいた経緯もあり、レセプションを開いてはどうか。今のところ5/18に予定をしている。決定次第、メール等による会員への告知、ホームページでの宣伝を行う予定。多くの会員の出席を望む。

## 会長より

- ・ 互助会について、退職積立金の廃止に伴い県からはこれまでの積立金を即還付せよとの指示があったが、それでは貸付事業等他の事業に支障をきたすため今はまだ還付時期を検討中であるとのこと。事務手数料については今年度より廃止されるが、そのことについての説明は佐事研大会等でも行わないとのこと。互助会通帳はもう使用しないので解約して構わない。
- ・ 生協からの研究助成金は減額の予定であるとのことだが、まだ決定したわけではないため予算では今までどおりの額で掲げている。
- ・ 評価・育成システムの自己目標申告書の記入の仕方について各地区事務研等で勉強会を開いてみてはどうか。庶務・財務経理・施設設備管理の3つの項目になっているが、その項目にとらわれる必要はないのでは。

☆☆☆ 調査広報部では会員の皆様より記事の募集をしております。また、こういったテーマで記事を作ってほしいとか調べてほしいなどご意見がありましたら外尾が各地区調査広報部員まで連絡をお願いします。

アクセス！ <http://www.saga-ed.jp/workshop/saiiken/>